



園長便りひがし

令和7年12月15日
宮崎ひがし幼稚園
文責園長 花宮 伸利

あつという間の2学期でした

2学期は秋まつりに始まり、PTAバザー、みかん狩り、お芋ほり遠足、合同発表会など本当にたくさんの行事がありました。子ども達もその中でぐんぐん成長をしていく姿を見ることができました。子ども達の頑張りに拍手拍手です。

また、中央央市場の秋まつりには全園児で参加しました。参加した子ども達を見てみると緊張することなく、堂々とした態度で踊ったり歌を歌ったりしていました。とてもいい経験になったと思います。ご家族の皆様、たくさんの応援ありがとうございました。



お正月

お正月は、年配の人達から「お正月に入浴してはいけないよ」とか、「洗濯や掃除は2日以降にしなさい」と、たしなめられて驚いた経験のある方も少なくないのではないでしょうか。元旦は一年の基準となるため、昔の人はこの日に縁起の悪いことをしないよう気を配ってきました。風呂に入ったり洗濯をしたりしないのは「ふく（服・福）を洗い流してしまわないように」だし、掃除をしないのは「せっかく訪れてくれた福の神を掃きだしてしまう」からです。

おせち料理は「腰が曲がるまで長生きするように」と海老を入れたり、「まめまめしく働くように」と豆を入れたりします。また、お正月に買い物をすると、その後一年間はお金が出ていくばかりになるとも言われてきました。神様へのお賽銭はかまわないが、お店で何かを買ってはいけないです。ほんの30年ほど前までは、お正月に開いているお店はほとんどなかつたから、このタブーを犯す可能性は低かったでしょうが、現代では「初売り」として元旦からセールをしている店もあり、家を出ればこれを守るのはなかなか難しそうです。古くからの言い伝えを尊重しようとしたら、お正月ぐらいは家のんびりしておいた方が良いでしょう。こうしてみると、お正月にしてはいけないことが多くて驚くかもしれない。しかしこれらタブーのほとんどは「お正月ぐらいはゆっくりさせてあげよう」という心遣いから来ているのだと言われます。

現代でも大変でしょうが、洗濯機も給湯器もなかった時代の家事は重労働だったのです。そこでお正月ぐらいは何もしなくて良いようにと、これらのタブーが決められたそうです。確かにお正月のタブーの多くは、「料理をしてはいけない」「お風呂を沸かしてはいけない」「掃除をしてはいけない」「洗濯をしてはいけない」と、主婦業に関するものが多いと気づきますね。そう考えれば、お正月はのんびり腹を立てずに過ごせばいいわけです。日ごろ忙しく家事にいそしんでいる皆さんも、お正月は「タブーなことはしない」と宣言し、のんびりしてみてはいかがでしょうか。